

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堤 殷

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 及川 雅晴

TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	76,992	5.1	8,331	15.0	8,754	11.9	5,191	11.5
21年3月期第1四半期	81,091		7,244		7,824		4,656	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	50.94	
21年3月期第1四半期	45.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	217,962	162,534	69.2	1,478.99
21年3月期	218,681	158,688	67.2	1,442.47

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 150,746百万円 21年3月期 147,030百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		15.00		15.00	30.00
22年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	161,000	0.5	12,400	4.6	13,200	5.4	7,300	7.6	71.62
通期	328,000	1.8	25,500	2.1	27,000	1.1	15,000	8.5	147.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	110,881,044株	21年3月期	110,881,044株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	8,955,732株	21年3月期	8,951,287株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	101,926,209株	21年3月期第1四半期	101,988,054株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界的金融危機による景気後退が長期化する中、生産や輸出は持ち直しの動きもみられるものの、企業収益の回復には時間がかかる状況であり、雇用情勢も依然として厳しく、個人消費は低迷し、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「Smiles for All.全ては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同四半期に比べ5.1%減収の76,992百万円、営業利益は前年同四半期に比べ15.0%増益の8,331百万円、経常利益は前年同四半期に比べ11.9%増益の8,754百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ11.5%増益の5,191百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

魚介類部門は、前期後半からの世界経済危機による市況低迷で特に影響を受けた高級水産物のカニ、ロブスター等の販売不振が今期も続き、更に、大衆魚と言われるサバ、シシャモ等の販売価格も消費者の低価格志向から下落傾向が続いております。そのような状況の下、当社の得意商材であります魚卵の新規取り組み、マグロ等の新商品の開発を行いました。売上高は前年同四半期に比べ28.0%減収の8,572百万円、営業利益は前年同四半期に比べ51.8%減益の166百万円となりました。

加工食品部門は、国内即席麺事業では、新しい企業スローガンの下で主力品の拡売に努めました。カップ麺では、焼そば製品を中心に生麺と冷凍麺の焼そば製品を含めた「マルちゃん焼そば スマイルキャンパン」を実施し、積極的な販売促進に努めました。また、「黒い豚カレーうどん」をリニューアルし、姉妹品として「黒い豚カレー焼そば」を発売するなど、和風麺、焼そばを中心に堅調に推移しましたが、前期において大きく数字を伸ばしたオープンブライス商品の当第1四半期における落ち込みが影響し、カップ麺全体としては減収となりました。袋麺においては、主力の「カレーうどん5食パック」等が貢献し、袋麺全体では増収となりました。ワンタン類においては、主力の「ホットワンタン」等が寄与しましたが、ワンタン全体としては微減となりました。その結果、即席麺事業全体では減収となりました。生麺事業の売上は、経済不況による家庭内食化の高まりの中、値頃感を追い風に業界全体が前年を上回るマーケットとなっており、当社商品も主力の焼そばをはじめ主要商品は順調に推移し、市場の伸びを上回る実績となりました。冷凍食品は、冷凍麺類、凍菜類は引き続き順調に推移しておりますが、調理品類が納入先ユーザーのメニュー変更により減収となった結果、冷凍食品全体では微減となりました。米飯事業及び魚肉ハムソーセージ類の売上は、ほぼ前年並みに推移しました。また、調味料類は引き続き家庭内調理の増加により、順調に売上を伸ばしました。これらの結果、売上高は前年同四半期に比べ1.7%減収の63,977百万円、営業利益は前年同四半期に比べ17.4%増益の7,712百万円となりました。

冷蔵庫部門は、国内では全国的に集荷営業を強化した結果、在庫量、在庫量が増加し、売上が前年を上回りましたが、前期において、米国のシーフリーズL.P.の冷蔵庫部門を事業譲渡したことから、国外を含む冷蔵庫部門全体では減収となりました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ4.2%減収の3,307百万円、営業利益は前年同四半期に比べ130.5%増益の309百万円となりました。

その他部門は、主に輸入牛肉の販売並びに不動産賃貸であります。輸入牛肉が好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ86.0%増収の1,134百万円となりましたが、営業利益は前年同四半期に比べ20.9%減益の149百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、冷蔵庫部門において増収となったものの、魚介類部門及び加工食品部門において減収となった結果、売上高は前年同四半期に比べ5.3%減収の62,884百万円、営業利益は前年同四半期に比べ12.0%減益の5,332百万円となりました。

北米は、為替換算による影響から売上高は前年同四半期に比べ3.9%減収の14,107百万円となりました。この内、即席麺事業の売上げは順調に推移しました。前年同四半期比9.8%の為替の影響がありましたが売上高は前年同四半期比1.9%減収にとどまりました。営業利益は値上げ効果と原材料価格の下落によって、前年同四半期に比べ149.6%増益の2,998百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は718百万円減少し217,962百万円、純資産は3,846百万円増加し162,534百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、建設仮勘定が増加し、有価証券が減少しました。負債は、主に未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金が増加しました。

この結果、自己資本比率は69.2%、1株当たり純資産は1,478円99銭となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,294百万円減少し、47,243百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ67百万円増加の4,223百万円となりました。これは主に、支払債務の減少、法人税等の支払額の増加により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益、たな卸資産の減少により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1,442百万円減少の4,284百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出が減少したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ45百万円減少の1,678百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、世界的金融危機による景気後退の影響を受け、雇用情勢の一層の悪化も懸念されており、景気は先行き不透明な状況が継続するものと思われませんが、当第1四半期の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成21年5月15日に発表しました見通しを変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,162	33,000
受取手形及び売掛金	39,275	39,191
有価証券	10,500	17,000
商品及び製品	14,401	15,326
仕掛品	181	165
原材料及び貯蔵品	4,125	4,451
繰延税金資産	937	1,856
その他	3,265	2,989
貸倒引当金	555	556
流動資産合計	109,294	113,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,143	35,854
機械装置及び運搬具（純額）	15,720	16,290
土地	31,473	31,527
建設仮勘定	6,649	2,776
その他（純額）	1,105	1,124
有形固定資産合計	90,092	87,574
無形固定資産		
のれん	108	121
その他	1,653	1,812
無形固定資産合計	1,762	1,934
投資その他の資産		
投資有価証券	14,682	13,594
繰延税金資産	1,356	1,392
その他	774	761
投資その他の資産合計	16,813	15,748
固定資産合計	108,668	105,257
資産合計	217,962	218,681

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,137	20,439
短期借入金	1,523	1,535
1年内返済予定の長期借入金	82	82
未払法人税等	2,254	5,035
未払事業所税	15	65
未払消費税等	623	593
役員賞与引当金	10	248
未払費用	13,478	15,898
その他	1,420	631
流動負債合計	39,547	44,529
固定負債		
長期借入金	103	116
繰延税金負債	1,282	999
退職給付引当金	13,782	13,608
役員退職慰労引当金	92	121
その他	621	618
固定負債合計	15,881	15,463
負債合計	55,428	59,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412
利益剰余金	125,165	121,503
自己株式	7,166	7,157
株主資本合計	158,380	154,727
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	488	260
繰延ヘッジ損益	75	0
為替換算調整勘定	8,198	7,437
評価・換算差額等合計	7,634	7,697
少数株主持分	11,787	11,658
純資産合計	162,534	158,688
負債純資産合計	217,962	218,681

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	81,091	76,992
売上原価	53,240	48,138
売上総利益	27,850	28,853
販売費及び一般管理費	20,606	20,522
営業利益	7,244	8,331
営業外収益		
受取利息	216	129
受取配当金	203	131
賃貸収入	78	104
持分法による投資利益	37	28
為替差益	26	-
雑収入	153	110
営業外収益合計	716	504
営業外費用		
支払利息	9	6
賃貸収入原価	16	15
為替差損	-	18
雑損失	110	40
営業外費用合計	136	81
経常利益	7,824	8,754
特別利益		
固定資産売却益	17	6
その他	15	1
特別利益合計	32	7
特別損失		
投資有価証券評価損	-	104
固定資産除売却損	145	31
その他	2	24
特別損失合計	147	160
税金等調整前四半期純利益	7,709	8,602
法人税、住民税及び事業税	2,581	2,368
法人税等調整額	232	804
法人税等合計	2,813	3,172
少数株主利益	239	237
四半期純利益	4,656	5,191

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,709	8,602
減価償却費	2,068	1,908
のれん償却額	9	11
持分法による投資損益（は益）	37	28
投資有価証券評価損益（は益）	-	104
退職給付引当金の増減額（は減少）	181	173
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	76	28
役員賞与引当金の増減額（は減少）	64	237
貸倒引当金の増減額（は減少）	28	0
受取利息及び受取配当金	419	261
支払利息	9	6
為替差損益（は益）	62	18
有形固定資産除売却損益（は益）	127	24
売上債権の増減額（は増加）	1,002	129
たな卸資産の増減額（は増加）	903	1,172
仕入債務の増減額（は減少）	1,803	253
未払費用の増減額（は減少）	2,162	2,383
その他	37	303
小計	7,171	9,004
利息及び配当金の受取額	438	274
利息の支払額	18	6
法人税等の支払額	3,436	5,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,155	4,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	93	83
定期預金の払戻による収入	123	127
有形固定資産の取得による支出	5,384	4,278
有形固定資産の売却による収入	26	12
投資有価証券の取得による支出	519	4
投資有価証券の売却による収入	12	0
貸付けによる支出	482	592
貸付金の回収による収入	693	566
無形固定資産の取得による支出	102	31
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,726	4,284

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	542	740
短期借入金の返済による支出	587	907
長期借入金の返済による支出	13	13
配当金の支払額	1,530	1,357
少数株主への配当金の支払額	120	125
その他	16	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,724	1,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,153	554
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,142	2,294
現金及び現金同等物の期首残高	37,570	49,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,428	47,243

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,913	65,116	3,451	609	81,091		81,091
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	669	171	226	133	1,200	(1,200)	
計	12,582	65,288	3,677	743	82,291	(1,200)	81,091
営業利益	344	6,570	134	189	7,238	6	7,244

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,572	63,977	3,307	1,134	76,992		76,992
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	610	119	270	148	1,148	(1,148)	
計	9,182	64,096	3,578	1,283	78,140	(1,148)	76,992
営業利益	166	7,712	309	149	8,338	(6)	8,331

(注) 1 事業区分は業種、製品の種類及び取引形態により区分しております。

2 各事業の内容及び主要な製品の名称

- (1) 魚介類部門.....魚介
- (2) 加工食品部門.....即席麺・生麺・冷凍食品・米飯
- (3) 冷蔵庫部門.....保管・凍結
- (4) その他部門.....不動産賃貸

3 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。前第1四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が22百万円(差益)、「加工食品部門」が0百万円(差損)であります。当第1四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が1百万円(差損)であります。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	66,409	14,681	81,091		81,091
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		912	912	(912)	
計	66,409	15,593	82,003	(912)	81,091
営業利益	6,058	1,201	7,260	(15)	7,244

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	62,884	14,107	76,992		76,992
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		419	419	(419)	
計	62,884	14,527	77,412	(419)	76,992
営業利益	5,332	2,998	8,331	(0)	8,331

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 北米区分に属する主な国又は地域は、米国・メキシコであります。

2 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。前第1四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が22百万円(差益)であります。当第1四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が1百万円(差損)であります。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	14,713	279	14,992
連結売上高(百万円)			81,091
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.2	0.3	18.5

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	14,098	99	14,198
連結売上高(百万円)			76,992
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.3	0.1	18.4

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米.....米国・メキシコ

その他の地域.....中国・台湾・韓国

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
魚介類部門	2,177	113.4
加工食品部門	50,662	102.8
合計	52,840	103.2

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
加工食品部門	4,714	98.9	80	174.5
合計	4,714	98.9	80	174.5

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当社製品はすべて見込生産によって製造されており、受注生産は行っておりません。
3 外注先からの発注により受注生産を行っている会社は、フクシマフーズ(株)、(株)フレッシュダイナー、石狩東洋(株)及びミツワデイリー(株)であります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
魚介類部門	8,572	72.0
加工食品部門	63,977	98.3
冷蔵庫部門	3,307	95.8
その他部門	1,134	186.0
合計	76,992	94.9

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
三井物産(株)	20,054	24.7	19,062	24.8

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。